

木の国わかやま木育キャラバンに協賛

平成30年1月13日～14日に和歌山市片男波公園健康館で開催されました木育キャラバンに和歌山木材協同組合として協賛し、和歌山木成クラブと共同して「木のレンガの遊び」場所を設けました。

木育キャラバンは、わかやま木育キャラバン実行委員会（事務局マルカ林業）が主催し、認定NPO法人芸術と遊び創造協会、東京おもちゃ美術館などが協力、木のおもちゃ等を通じ子供たちに木に触れる場とするものです。また、和歌山県森林組合連合会と農林中金が特別協賛として積み木の角取りワークショップを開催、出来上がった積木は和歌山市内の保育園などに送られることになり、13日の贈呈式には、尾花和歌山市長に真砂県森連会長より積み木が贈呈されました。贈呈式には来賓として和歌山木材協同組合宮本理事長も出席、花を添えさせていただきました。

会場は大変なお客さんの入りようで会場オープン前から行列ができるぐらいで、二日間で4,000人が来場されたとのこと。さて、和歌山木成クラブと共同で設けた「木のレンガの遊び」場所では、プレカットで出る柱や梁、桁の端材をそのまま利用、小さな子供には大きいと思う物を山に積んでいました。さすがに小さな子供ではと、思ったものの、よちよち歩きの子供でも、まず大きいものから持ち上げ、積もうとします。子供心にも下げる、持ち上げるぐらいの大きさが魅力なのではないでしょうか。（危険は危険ですが）

14日の午後には気に入ったものは持ち帰っても良いとしたところ、240個ぐらいを持ち込んでいたのが、7割ぐらいが入場者の手によって持ち帰ってしまいました。来年は田辺市で開催するという事なので、良いアイデアがあれば参画できれば・・・・・・・・。

